

# 独自の学びで成長を実感できる大学。

学生の成長のためのカリキュラムが充実している長崎県立大学。

常に先を見据えて前進している大学の学びの特色を「地域性」「国際性」「専門性」のテーマで、3回にわたってご紹介しています。

## 国際社会で活躍できるスキルを磨ける、

### 学生の視点

海外での語学研修で、  
学習意欲が  
さらに高まりました。



経営学部  
国際経営学科 3年 山口 真奈  
(長崎県/佐世保高等学校出身)

高校時代、どちらかと言えば英語は苦手な教科で、大学では苦手を克服し、英語力を向上させたいという思いがありました。また、経営学にも興味があり、英語と経営の両方を学べることから迷いなく経営学部国際経営学科を志望しました。

入学時から大学の先生方、そしてベルリッツの講師陣による熱心で密度の濃い英語の授業を受けることができ、TOEIC®のスコアも約2年間で300点以上伸ばすことができました。2年次からは英語だけでなく、経営に関する基礎知識を養うことができ、3年次の今は英語と経営学をバランスよく学ぶことができます。

年次を経ることに多くの経験をしてきましたが、その中でも2つの海外体験が自分にとって大きかったと思っています。ひとつは1年次の「海外語学研修」で、マンツーマンレッスンやグループディスカッションを中心に、3週間みっちり英語漬けの日々を過ごしたことです。大変ではありましたが、英語だけに集中できたため、リスニング力やスピーキング力は大きく向上しました。もうひとつは「海外ビジネス研修」として、3年生の今は英語と経営学をバランスよく学ぶことができます。

ス研修」でベトナムに長期滞在したことです。実際に現地に足を運び、自分の目で見て体験することの重要性や、しっかりと専門知識を養う必要性を感じました。「海外



語学力を磨き、海外で働くという貴重な経験ができた「海外ビジネス研修」。

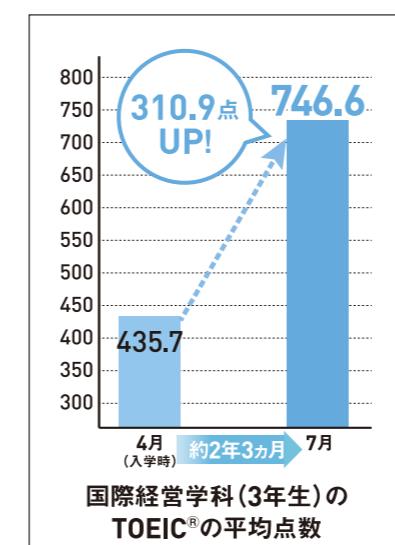
## 「経営学部 国際経営学科」の学び。

### 教授の視点

経営学部国際経営学科(定員60名)がスタートして約2年半が経ち、1期生も3年生になりました。まずは英語力が学びの軸になると考え、入学以来、英語を徹底的に学ぶプログラムを組みましたが、その結果、TOEIC®のスコアの平均点も310点以上伸びました。これは私たち教職員が学生一人ひとりと真摯に向き合つてきめ細かな指導をしたこと、そして何よりも学生自身が途中で投げ出さず努力をした賜物だと思っています。

1年次はフィリピンのセブ島で3週間の「海外語学研修」を、そして3年次には東南アジアなどの企業や団体で「海外ビジネス研修」を行います。いずれも必修で、身につけた英語力を実践の場で試す絶好の機会となっており、海外に行く前と後では学生たちの表情も違つてきます。海外を経験することで意識が大きく変わつてゆくのを感じ取ることができます。

3年生は1、2年次に修得した英語力を強力なツールとして、多岐にわたる経営の専門知識を学んでいます。この学科は語学学習と経営学の2つを同時に学べるのが大きな特徴で、両方を学ぶことで、この学科が目指している「国際社会で活躍できる人材へと成長してほしい。」



る人材へと成長していきます。学生の海外への意識も学びを深めるうちに高くなり、3年生に将来の進路を尋ねると約8割の学生から「海外で働きたい」という回答が返つてきました。残り約2割の学生も、海外と何らかの結びつきがある企業への就職を希望しています。

学生は実践的な学びを通じて年々頼もしくなっています。そして、何より嬉しいのはこの学科に入学して良かつたという学生の声が多く聞かれています。これからも私たちは「世界に挑む」学生たちの夢の実現のため、惜しまず努力を積み重ねる考えでいます。



経営学部  
国際経営学科 岩重 聰美 学科長

- 経営学部[経営学科/国際経営学科]
- 地域創造学部[公共政策学科/実践経済学科]
- 國際社会学部[国際社会学科]
- 情報システム学部[情報システム学科/情報セキュリティ学科]
- 看護栄養学部[看護学科/栄養健康学科]